

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成28年6月2日(2016.6.2)

【公表番号】特表2015-524652(P2015-524652A)

【公表日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2015-054

【出願番号】特願2015-501989(P2015-501989)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 1 2 N	5/0783	(2010.01)
C 0 7 K	16/30	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/17	(2015.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
C 0 7 K	14/47	Z N A
C 1 2 N	5/00	2 0 2 L
C 0 7 K	16/30	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	1 0 1
C 1 2 Q	1/68	A
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	35/17	Z
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/04	
G 0 1 N	33/53	D

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月5日(2016.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

10～30アミノ酸長を有し、配列番号：8のアミノ酸配列の一部を含む単離されたペプチドであって、

(a) 配列番号：2または1のアミノ酸配列から選択される9を超えるアミノ酸長を有する連続するアミノ酸配列；および

(b) (a)のアミノ酸配列において1、2または数個のアミノ酸が置換、欠失、挿入および／または付加されているアミノ酸配列

から成る群より選択されるアミノ酸配列を含み、Tヘルパー1型（Th1）細胞を誘導する能力を有するペプチド。

【請求項2】

前記ペプチドまたはその断片が少なくとも2種類のMHCクラスII分子に結合する能力を有する、請求項1に記載の単離されたペプチド。

【請求項3】

前記MHCクラスII分子が、HLA-DP5、HLA-DR15、HLA-DR8およびHLA-DQの1つから成る群より選択される、請求項2に記載の単離されたペプチド。

【請求項4】

LY6K特異的細胞傷害性Tリンパ球（CTL）誘導能を有するペプチドのアミノ酸配列を含む、請求項1から3のいずれか一項に記載の単離されたペプチド。

【請求項5】

(a) 配列番号：2および1から成る群より選択されるアミノ酸配列；および

(b) (a)のアミノ酸配列において1、2または数個のアミノ酸が置換、欠失、挿入および／または付加されているアミノ酸配列
から成る群より選択されるアミノ酸配列を含む、請求項4に記載の単離されたペプチド。

【請求項6】

前記ペプチドが配列番号：6のアミノ酸配列を含む、請求項5に記載の単離されたペプチド。

【請求項7】

請求項1から6のいずれか一項に記載のペプチドをコードする単離されたポリヌクレオチド。

【請求項8】

(i) Th1細胞、

(ii) CTL、

(iii) Th1細胞を誘導する能力を有する抗原提示細胞（APC）、および

(iv) CTLを誘導する能力を有するAPC

から成る群より選択される細胞の少なくとも1つを誘導するための組成物であって、請求項1から6のいずれか一項に記載の1つもしくは複数のペプチド、またはそれらをコードする1つもしくは複数のポリヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項9】

(a) 請求項1から6のいずれか一項に記載の1つまたは複数のペプチド；

(b) 請求項7に記載の1つまたは複数のポリヌクレオチド；

(c) 請求項1から6のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片を自らの表面に提示する1つまたは複数のAPC；

(d) 請求項1から6のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片を自らの表面に提示するAPCを認識する1つまたは複数のTh1細胞；および

(e) 前記(a)から(d)の任意の2つまたはそれ以上の組合せ
から成る群より選択される少なくとも1つの有効成分を含有し、ならびに

(i) がんの治療、

(ii) がんの予防、

(iii) がんにおける術後再発の予防、および

(iv) 前記(i)から(iii)の任意の2つまたはそれ以上の組合せ

から成る群より選択される目的のために製剤化されている、医薬組成物。

【請求項 1 0】

MHC クラス II 分子として HLA - DP5、HLA - DR15 および HLA - DR8 から成る群より選択される少なくとも 1 つを有する対象への投与用に製剤化されている、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 1】

CTL 誘導能を有する 1 つまたは複数のペプチドをさらに含有する、請求項 9 または 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 2】

MHC クラス II 分子によって媒介される免疫応答を増強するための組成物であって、
(a) 請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の 1 つまたは複数のペプチド；
(b) 請求項 7 に記載の 1 つまたは複数のポリヌクレオチド；
(c) 請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片を自らの表面に提示する 1 つまたは複数の APC；
(d) 請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片を自らの表面に提示する APC を認識する 1 つまたは複数の Th1 細胞；および
(e) 前記 (a) から (d) の任意の 2 つまたはそれ以上の組合せ
から成る群より選択される少なくとも 1 つの有効成分を含有する組成物。

【請求項 1 3】

Th1 細胞を誘導する能力を有する APC を誘導するための方法であって、APC を請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のペプチドと インビトロ で接触させる段階を含む方法。
。

【請求項 1 4】

Th1 細胞を インビトロ で誘導するための方法であって、
(a) CD4 陽性 T 細胞を、MHC クラス II 分子と請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片との複合体を自らの表面に提示する APC と共に培養する段階；および
(b) T 細胞受容体 (TCR) サブユニットの両方をコードするポリヌクレオチド、または TCR サブユニットの各々をコードするポリヌクレオチドを CD4 陽性 T 細胞に導入する段階であって、ここで TCR が、細胞表面に提示される MHC クラス II 分子と請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片との複合体に結合することができる、段階
から成る群より選択される段階を含む方法。

【請求項 1 5】

CTL を インビトロ で誘導するための方法であって、
(a) CD4 陽性 T 細胞および CD8 陽性 T 細胞の両方を、請求項 4 から 6 のいずれか一項に記載のペプチドと接触させた APC と共に培養する段階；ならびに
(b) CD8 陽性 T 細胞を、請求項 4 から 6 のいずれか一項に記載のペプチドと接触させた APC と共に培養する段階
から成る群より選択される段階を含む方法。

【請求項 1 6】

MHC クラス II 分子と請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片との複合体を自らの表面に提示する、単離された APC。

【請求項 1 7】

APC の表面に提示された請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片を認識する、単離された Th1 細胞。